

《ホームページ用》

第16回特発性心室細動研究会（J-IVFS）

日時：平成30年2月17日（土） 13:00～17:00

場所：聖路加国際大学 アリス・C・セントジョン メモリアルホール

～ プログラム ～

13:00～13:05 開会の辞

青沼和隆（筑波大学）

13:05～13:30 事務局報告

S-ICD 登録研究について

○横山泰廣（聖路加国際病院 循環器内科）

13:30～14:15 一般演題 1. <1 演題/発表9分/質疑3分>

テーマ：「非ブルガダ型特発性心室細動に対するリスク評価と治療」

“非侵襲的アプローチについて（心電図診断、画像診断、遺伝子解析、薬物治療など）”

座長：西崎光弘（小田原循環器病院/関東学院大学）

堀江 稔（滋賀医科大学）

1-1. Na チャネル β 1 サブユニット *SCN1B* は致死性不整脈の原因遺伝子か？

長崎大学 分子生理学

○石川泰輔

1-2. QRS 幅の広い特徴的な右脚ブロックに心室細動や突然死の家族歴を合併した *SCN5A* 変異陽性の3症例

滋賀医科大学 呼吸循環器内科

○福本大介

1-3. 次世代シーケンサーによる遺伝子解析で *SCN3B* 変異を認めたブルガダ症候群の2症例

慶應義塾大学医学部 循環器内科

○伊藤章吾

◆ 座長まとめ 解説的なまとめ（9分）

14 : 15~14 : 30 休 憩 (15 分) ※機器展示を開催致しております。

14 : 30~15 : 35 一般演題 2. <1 演題/発表 8 分/質疑 3 分>

テーマ : 「非ブルガダ型特発性心室細動に対するリスク評価と治療」

“侵襲的アプローチについて (負荷試験、EPS、カテーテル・アブレーションなど) ”

座長 : 因田恭也 (名古屋大学)

草野研吾 (国立循環器病研究センター)

2-1. 当院での非ブルガダ型特発性心室細動症例に対するアブレーション経験

東北大学 循環器内科学

○中野 誠

2-2. 飲酒を契機に頻回に心室細動が誘発された、完全右脚ブロックを呈する症例の確定診断及び薬剤選択に難渋した一例

日本医科大学付属病院 循環器内科

○岡 英一郎

2-3. J Wave Syndrome Consensus Report のリスク評価の有用性と限界

岡山大学病院 循環器内科

○佃 早央莉

2-4. 早期再分極症候群の診断における冠攣縮性狭心症の除外の重要性

国立循環器病研究センター 心臓血管内科不整脈科

○鎌倉 令

2-5. 早期再分極症候群患者における心室細動発症リスクと圧受容体反射

大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座

○石井悠海

◆ 座長まとめ (10 分)

15 : 35~15 : 50 休 憩 (15 分) ※機器展示を開催致しております。

15 : 50~16 : 55 イブニングセミナー (共催 : 日本ライフライン株式会社)

座長 : 青沼和隆 (筑波大学)

“Electrical substrate elimination by epicardial right ventricular ablation
in patients with Brugada syndrome.”

Prof. Josep Brugada Terradellas, MD, PhD, FESC

Full Professor of Cardiology, University of Barcelona, Spain

Senior Consultant in Cardiology, Hospital Clínic de Barcelona, Spain

Head of the Arrhythmia Section of the Pediatric Hospital San Joan de Déu, Barcelona, Spain

16 : 55~17 : 00 閉会の辞

平岡昌和 (東京医科歯科大学名誉教授)